

# おうみネット

2016

# 99

Autumn

Ohmi Net | ●発行日 / 2016年10月1日 ●発行所 / 公益財団法人 淡海文化振興財団

## ① 特集「子どもの貧困」問題について考える ～地域の子どもは地域の大人で守る～

滋賀県社会福祉協議会事務局次長 / 滋賀の縁創造実践センター所長 谷口 郁美さん

## ⑤ おうみの市民と企業が **ともに Grow**

子どもと未来を創る感性育成プロジェクト

Grow 01

### 青少年育成

地球ハートヴィレッジ

「誰でも、どこでも、いつでも」スポーツが楽しめる場づくり

Grow 03

### 健康づくり

特定非営利活動法人  
多賀やまびこクラブ

被災地の子もたちの保養キャンプを開催!

Grow 02

### 被災地支援

びわこ☆1・2・3  
ワン ツー スリー  
キャンプ実行委員会

社会貢献する「世間よし」企業紹介

Grow 04



### 世間よし

一般社団法人  
滋賀県タクシー協会

# Grow



Ohmi Network Center

## 淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

# 子どもの

# 貧困

## 問題について考える

### 地域の子どもは 地域の大人で守る

今、

日本の中で相対的に貧困とされる家庭環境で暮らしている子どもの割合は6人に1人とされています。滋賀県では、地域のなかでは見えにくい「子どもの貧困」をみんなの問題と考え、子どもが安心できる大人と出会い、おなかいっぱいごはんを食べて、宿題をしたり、遊んだり、安心して過ごせる地域をつくっていくために「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業を推進しています。

地域の子どもを地域の大人で守るために、出来ることは…

今回は滋賀の縁創造実践センター所長の谷口郁美さんから子どもの貧困についてご意見を寄稿頂きました。さらに、子ども食堂、居場所まんなの代表、村山さおりさんに活動内容を、そしてひとり親家庭を支える活動をされている、甲賀市ひとり親家庭福祉の会の方に様々な取り組みのお話を伺いました。

ちょうど一年ほど前、子ども食堂をつくりませんかという呼びかけをさせていただこうとある地域のボランティアグループの方たちとお会いした。給食が唯一のちゃんとしたごはんという子どもの話や、学校の制服と体操服以外の服がなくて修学旅行に行きたいけど行けない子どもの話など、滋賀の子どもがづらい気持ち、悲しい気持ちを抱えて子ども時代をすごしている話をさせていただいた。ボランティアの方たちは、地元の子どもたちがこのような状況にあるとは想像できないとおっしゃりながらも、自分たちにはわからなくても、苦しい生活をしている子どもがこのまちに一人でもいるのなら、地域の子どもならだれでも来

### みんなおいでや！ 今日は子ども食堂の日やで

子どもの笑顔がこぼれる瞬間、私たちのまちが輝く

滋賀県社会福祉協議会事務局次長  
滋賀の縁創造実践センター所長

谷口 郁美さん

### 谷口 郁美さん●プロフィール

大学卒業後中学校教員となり、その後、県の外郭団体で高齢化社会における地域づくりの調査研究に従事。2003年、県社協職員となり、“ひとりもれなく、人として生まれてきた生きがい豊かに感じられる世の中”づくりに、仲間とともに取り組んでいる。 滋賀県社会福祉協議会事務局次長、滋賀の縁創造実践センター所長。





ることができる、子どものための食堂をやってみましょうと動き出された。食堂は、月一回、子どもを真ん中において子育て中の人から高齢の人までどなたでも気楽に輪の中に入れて、「ありがとう」といううれしい気持ちになる場所になっている。

六人に一人。日本のなかで相対的に貧困とされる家庭状況で暮らす子どもの割合である。格差を子ども心に感じながら、負けるもんかと踏ん張る気持ちと、私の夢はかなえられへんねんとあきらめる気持ち、だれにも自分の本心を言えないつらさ。登下校や学校のなかで地域の大人として気がかりな子どもがいても、子どもは親のうしろにひっそりとしているので、そこ

Essay. I  
市民活動をサポート！

みんなで育む、くさつの未来

草津市コミュニティ事業団は、広報誌やホームページによるまちづくり情報発信、助成金事業、会計や広報などの講座事業、団体間の交流促進イベントなどの業務を通して、市民公益活動団体や地域コミュニティのまちづくり活動を支援しています。

草津のまちづくりは市民、行政、中間支援組織が顔を合わせながら話し合う場面を大切にしており、団体の活動拠点であるまちづくりセンターや交流イベントの運営なども、市民と一緒に企画・運営してきた歴史があります。

私たちもこの歴史を大切にしながら、業務に取り組んでいます。例えば、平成13年度から続いている「ひとまちキラリ助成」では単に助成金を交付するだけでなく、団体に寄り添い、時には一緒に悩みながら、団体の活動をサポートしています。

これからも市民のみなさんの声に耳を傾けながら、草津の未来を育む活動を応援していきたいと思います。

公益財団法人  
草津市コミュニティ事業団

諸岡 聖(もろおか しょう)さん



から一歩踏み込んで家庭に声をかけることには躊躇がある。子ども食堂をはじめられたボランティアグループの方の話のとおり、貧困や孤立のなかで生きづらさを抱える子どもの姿は見えにくい。子どもほんとうの声は、どうしたらキャッチできるのだろう。

経済的格差の拡大と、地域のつながりから切れていく世帯が増加する社会のなかで、生きづらさを抱えながらなんとか生き抜こうと

している子どもたち。地域の大人として子どもたちのためにひと肌脱ぐとしたら何がやれるだろうか。ギョツと固くなりかけている子どもの心を温かくしてほぐせるような取り組み、本当に支えたい子どもが望んでいるのはどんなことだろうか。一生懸命、地域の大人が相談すること、そのこと自体が子どもにじんわり効いてくる。

一〇〇%の万全の計画を立ててからしかできないと思わず、身近な

範囲で手の届く、やり直しのきく小さな活動から始めよう。

平成十八年の滋賀県子ども条例施行から十年の今年、「福祉のサービズ」ではなく、地域ぐるみで運営する子ども食堂のような、地域の連帯感が豊かに感じられる活動、住民自身が誇らしく思う活動が滋賀の各地で生み出されてくる予感がする。子どもの笑顔が輝く滋賀、私たちみんなの笑顔が輝く新世紀にしていこう。

# 県内の取り組み

## 長浜

**一学区に一食堂 そんな街を目指して**  
北郷里子どもの居場所つくろうの会  
こどもの居場所まんな

### ■立ち上げのきっかけ

長浜市北郷里学区でこども食堂を立ち上げたきっかけはある虐待のニュースでした。子ども達に居心地の良い場所を作りたい、でも何をどうすればよいかわからない中、食べるのならできるかも？と知り合いに相談すると、同じ学区のお母さんや友人が賛同し、地域づくり協議会、民生委員さんたちの力添えもあり、二〇一六年の三月に初めてこども食堂を開催することができました。

### ■主な活動内容

月に一回のペースで毎回五十名程が参加します。周知は小学校でのチラシの配布や、フェイスブックなどで行います。基本的に学区内の小学生が対象ですが、誰でも参加できます。

当初から大切にしている「ごはん・味噌汁」を中心に、子どもは百円、大人は三百円で食事をする事が出来ます。地元の方からの野菜やホルモンの差し入れを頂き、子ども達が好きなメインや、野菜をつ

くる副菜を

ビュッフェ形式で提供します。最初は野菜をたくさん食べてほしいという思いから野菜中心のメニューでしたが、食べてくれないこともしばしば。しかし、みんなで楽しく食事をする事で、少しずつでも口にしてくれる子どもが増えました。



### ■子ども食堂の活動を通して想うこと

様々な状況で朝ごはんを食べていなかったり、夕食もコンビニでまめることが多くなった今、特別なものではないけれど、ここにくれば温かいご飯と、自分達に想いを寄せている大人がいるということを知ってもらえたらと考えています。そうは言っても、人手がまだまだ足りていないのも現実です。地元のみなさんに協力してもらいながら、活動をしています。

## 甲賀

**つながりを大切に。みんなの頑張りを応援しています。**  
甲賀市ひとり親家庭福祉の会

### ■どんなグループか

死別や離別などでひとり親となったものが、互いに、交流や親睦を深め、孤立せずに自立した生活ができるための自助グループです。

当会は、県から委嘱された二十名の母子福祉推進員が中心となり、県から発行されるサポート便を配布して、顔を合わせ、困ったことがあればすぐに相談できる支援体制を作っています。甲賀市から補助金を受け、市の子ども応援課からもサポートを受けています。

### ■主な活動内容

就労支援のためのパソコン教室の開催や年に二回程度のバス旅行、おしゃべり会など、リーズナブルな金額でひとり親がホッとできる企画をしています。

以前は、会員だけの参加でしたが、会員外の甲賀市ひとり親も参加できるようにしています。(少し参加費は変わります)  
入会すると、小学校入学時に五千円、高校入学時には一万円のお祝い金を会からします。

しかし、会員数が少ない現状で、本当に困っているひとり親に必要な情報やサポートが行き届いていません。

そこで、ホームページを立ち上げ、顔の見えないつながり作りを考えました。今後は情報だけでなく、体験談等も掲載して、励ましあえるネットにしていきたいです。

### ■今、必要な自立促進支援とは

滋賀県でのひとり親家庭数は、一万四千世帯(平成二十六年四月時点)を超え、甲賀市においても、ひとり親世帯は八百世帯あると言われています。個人情報保護のシステム上、全ひとり親の内情を把握できる術がありません。

「正規で働きたいけど、残業ができないのでパートしかない」今は、職場の理



まとめ

なかなか見えてこない子どもの貧困。子どもであるがゆえに助けを求めることも手段も知りません。周りの大人がどれだけ気がつけるかがカギとなっているのではないのでしょうか。

行政や民間の福祉システムを活用しながら、地域で助け合い、支え合い、ともに手を携えて、子どもが気兼ねなく本音を話せる場所を作ってあげることが必要です。一人でも多くの子どもたちが自分の存在に自信を持ち、自分の未来に希望の持てる社会となるよう心から願います。



毎朝の登校の立ち当番もしながら子ども達の様子を見つめ、困っている子どもがいけないか、何か自分ができることはないか、日々考えています。もっとも大切にしているこ

とは子ども達との関係を築くこと。大人の都合で子ども達の居場所を奪ってはいけないのです。いつまでも子ども達に寄り添える存在でありたい。やがてその子ども達が大きくなつたときに、今度はお手伝いに来てくれるような繋がりができることを期待しています。

DATA

北郷里子どもの居場所つくろうの会  
こどもの居場所まんま

- 設立 / 2016年3月
- 会員数 / 4名 ●代表 / 村山 さおり
- 連絡先 / TEL : 090-4038-8899

Essay. II

おうみ未来塾リレーエッセイ

地域福祉を学んだ場所

4期生 松田達也(まつだ たつや)  
グループ：地域家族研究チーム

私は生活協同組合コープしがの職員です。生協は生活者が出資し協同で運営する「社会的事業体」ですが、私は生協が地域福祉にどう結びついているのかを学びたいと思い、未来塾に入塾しました。

在塾時はグループで様々な市民活動を訪ね、子育て支援、障がい者サポート、地域文化を育む活動等々、自分の思いから仲間と行動し、地域を豊かにしている人々にとても触発されました。

そんな地域活動をしている方々に勇気づけられ、生協でも有償ボランティア制度「ささえあい」を始めることができました。これは一人ひとりができることを登録し、依頼に対して生協がつなぐものです。この生協の活動も今年で10年。サポーターは1,800人を超えます。サポーターは組合員という以外に地域で様々な顔を持っていますが、ささえあいに携わる人々が、多様な形で地域諸団体に結びついています。おうみ未来塾は私にとって、地域福祉のつながりを大事にする事を学んだ場所でした。



解があるからいいけど、部署が変わったら不安だ」などの声はよく聞かれます。ひとり親家庭では正規雇用率は低く、経済的にも厳しい状態にあるのが現実で、その状況を少しでも改善できるよう、子育て、生活、就労や経済面など、さまざまな角度から支援の体制を整えていかなければなりません。

これからは、行政や社会福祉協議会、学校、園は当然のこと、地域や企業などと連携しながらひとり親がゆとりを持った子育てができる支援が必要とされています。

同じ立場の仲間がいること、打ち

明けられることで、解決の糸口が見つかるときがあります。

まずは、仲間づくり。安心して生活や子育て、就労や社会参加ができるように、ひとり親の頑張りや反映される社会になれるように取り組んでいきます。

DATA

甲賀市ひとり親家庭福祉の会

- 代表 / 藤井 貞子
- 連絡先 / 甲賀市水口町水口5676  
自主活動センター きずな内  
TEL : 090-4763-7442  
URL : <http://koka-hitorioya.net/>

# ともに Grow

県内で活躍するNPOや  
社会貢献企業を  
レポート!

## Grow 01 市民 ● 青少年育成



▲心のこもった食事を皆で囲みます

「自然豊かな滋賀で思いきり遊んでほしい」  
保養キャンプに願いを込めて

ここでの「保養」とは、原発事故後の放射能の影響に不安を感じた人々が、休日等を利用して一時的に受け入れ地へ出かけて心身の疲れを癒そうとすることを表します。東日本大震災による原発事故を受けて「自然豊かな滋賀で思い切り遊んでもらおう」と有志による実行委員

会を立ち上げ、二〇一二年の春に第一回目の保養キャンプを実施。今年の夏で十三回目を迎えます。  
びわこ☆1・2・3キャンプでは小学一年生以上の子どもたちを毎回四十名程度受け入れて、およそ百人のボランティアの協力により子どもたちの滞在をサポートし

2016笑顔あふれるコープしが基金助成団体

### 地球ハートヴィレッジ



▲自然と共に望む未来をみんなでかたちに(野外創作)

代表 ● モリコーニ 直美  
設立 ● 2015年4月1日  
会員 ● 13人  
連絡先 ● 東近江市布引台1丁目58  
TEL : 080-8342-0128  
FAX : 0748-36-3606  
URL : <http://www.chikyuhartvillage.uh-oh.jp>

### いのち、きもち、かたちを大切にハートのヴィレッジ(発信地)を東近江から創りたい!

地球ハートヴィレッジは子どもと未来を創る感性育成プロジェクトを目的に、主に東近江市の親子を対象に活動をしています。野外体験活動や美術指導、文化交流活動を通じて、親子の視野を広げるとともに、感性、創造力、主体性を養うための活動を、環境に関心のある有志五人で組織を立ち上げました。会長のモリコーニ直美さんにお話を伺いました。「いのち」「きもち」「かたち」を大切にみんなが自分の可能性をハートで合わせて創る、ハートのヴィレッジ(発信地)を東近江から創りたいとの想いをモットーに、「どんな小さな感動も大切に、創造力豊かなたくましい子どもを育てていきたい。」と年間を通して七人のコアメンバーで活発な活動を展開されています。  
本年度は未来ファンドおうち「笑顔あふれるコープしが助成事業」として、育児世代ママを対象に食育料理講座を開催しています。食育インストラクターの藤田優子さんによる食を通じた躰をテーマ



▲一緒に作って一緒にいただくことを大切に(食育料理講座)

画として子どもから高齢者まで世代間を統合する芸術、アートを通じた感性共育の拠点とした活動を広げたい。そのためには、ギャラリー運営、講座開催できるカフェレストランを運営して安定的な活動資金を確保していきたい。」と夢を語っていた。  
東近江からハートの輪が大きく広がるよう、今後の取組について大いに期待するところです。  
(淡海ネットワークセンター 徳本 次夫)

に実施中で、「味覚が確立する幼児期に心と体が健やかに育つことを願って、食事と躰について身土不二から共に考えていきたい。」と今年度の取組について意欲をみせておられます。  
将来的には「今後の計画として子どもから高齢者まで世代間を統合する芸術、アートを通じた感性共育の拠点とした活動を広げたい。そのためには、ギャラリー運営、講座開催できるカフェレストランを運営して安定的な活動資金を確保して

『運動』を楽しんで、たくさんの方が  
身体を動かして交流!



▲スナッグゴルフ教室

平成十九年、住民主体でスポーツクラブを作ろうと、多賀町内のスポーツ少年団や運動サークル等の関係者が集まって設立されました。「誰でも、どこでも、いつでも」を目指す地域総合型スポーツクラブです。名前の「やまびこ」は、「多賀の山々に名前が響き渡るように」という思いを込めてつけ

られています。クラブマネージャーの桂 壽郎さんから活動についてお聞きしました。  
現在、クラブで運営するサークル・教室はバドミントン、卓球、野球、ソフトテニス、キッズダンス、サッカー、ヨガとエングジョイスポーツの八つ。住民が好きなことをボランティアで指導し、楽しみながら教え

## 社会貢献する「世間よし」企業紹介

### 一般社団法人 滋賀県タクシー協会

住所：〒524-0104 守山市木浜町2298番地4  
 TEL：077-585-8261 FAX：077-585-8262  
 URL：http://shigataxi-kyokai.com/

## 妊産婦もドライバーも 安心できるタクシーを目指して

滋賀県で今、注目されているゆりかごタクシー。行政、産科医会、看護師会、消防などと協働で行っているのは全国で唯一、初の取り組みです。県下のタクシー会社を取りまとめている滋賀県タクシー協会の野崎さんにお話を伺いました。

妊産婦が一人の時に陣痛がきたらどうしたらいいのでしょうか？タクシーの利用が最良です。もっとも妊産婦がタクシーを利用することに対し、タクシー会社は消極的で、迷惑を被らないかを心配し利用者が少ないのが現状でした。その不安を取り除けば、妊産婦を快適に送迎できるのでは？と、一人の保健師さんからの提案で2013年10月10日にゆりかごタクシーは始動しました。

汚してしまうかもしれないという心配は「ゆりかごセット」(特定非営利活動法人マイママ・セラピーで販売中)の開発で解消されました。ドライバーは妊産婦に対する知識として、産科医会や看護師会の専門スタッフの研修を受け、更新DVDを活用しながら、随時研修をしています。

なかでもタクシー会社の要となるオペレーターの研修が大変優れていて、「タクシー要請の電話の対応として、医師への確認や陣痛の間隔を確認したり、産院への連絡、荷物の有無など、細部にわたり、妊産婦の不安解消と、スムーズな運行の心得を取得しています。ドライバーは可能な限り、ドアtoドアで対応することを心掛けています。」と野崎さん。

妊産婦は同協会のホームページから登録(無料)を済ませておくだけで、一人の時に陣痛がきても安心で、お産前後の急な受診にも、通常のタクシー運賃で対応してくれます。時代のニーズにマッチした、協働での取り組みにますます利用が高まりそうです。

(淡海ネットワークセンター 佐藤 弥絵美)



▲ゆりかごタクシーのマーク。



▲妊産婦さんの不安を解消する「ゆりかごセット」

## びわこ☆1・2・3キャンプ実行委員会

代表●藤本真生子(ふじもと まきこ)  
 設立●2012年2月  
 会員●中心メンバー7人  
 連絡先●野洲市小堤184-1 暮らしを考える会内  
 TEL：077-586-0623  
 FAX：077-586-1403  
 URL：https://www.facebook.com/Biwako123camp/



▲遊び相手は学生ボランティアが大活躍

の願いから、食の安全についての勉強会や防災ワークショップをおこなっています。「より元気になって帰ってほしい」と地元食材をふんだんに使い手作りされた食事はとても美味しいと評判で、滞在中に食事の量が増える子どもが多いそうです。

東北や関東からの参加者の負担をなるべく抑えられようにと、交通費や滞在の補助もしています。資金調達のために寄付を募ったり、今年に初めてクラウドファンディングに挑戦し、一二九万二千円の寄付を集めて目標を達成することができました。事故から年月が経つにつれて補助金が得られ難くなったりと課題は多いものの、できる限りキャンプを続けたいと考えておられます。代表の藤本さんは「みんなが夢を持てる社会にしていきたい」と語ってくれました。

(おうみネットサポーター 藤村 陽子)

## 特定非営利活動法人 多賀やまびこクラブ

代表●滝川徹人(たきがわ てつひと)  
 会員●正会員15人 賛助会員136名  
 連絡先●犬上郡多賀町多賀245-2 多賀町B & G海洋センター内  
 TEL/FAX：0749-48-1115  
 E-mail：yamabiko@pcm.ne.jp

合う仕組みです。「必ずこれやりなさいというルールはありません。好きな人が好きなスポーツを教える。そして、スポーツと言うと抵抗があるので、『運動』と言っています」と桂さん。

例えば、今年で四回目となるやまびこゆつくりマラソン大会は、競うことが目的ではなく、走る。ことが目的。ゆつくりと名前にあるようにちゃんと信号は守り、老若男女が交流しながらマイペースでランニングを楽しみます。

平成二十七年には、滋賀県健康医療福祉部による健康寿命をのばそうプロジェクト運動

部門で最優秀賞を受賞されました。運動を楽しむことはもちろん、体力・骨密度・血管年齢測定を取り入れ継続的な健康づくりが評価されたそうです。「たくさんの人が長く健康でいられるように、子どもから大人まで誰もが身体を楽しく動かして交流できる場をつくり続けたいと思います。」と桂さんの思いを聞くことができました。

(おうみネットサポーター 膽吹 憲吾)



▲クラブ長の滝川徹人さん(左)とマネージャーの桂壽郎さん(右)

**お知らせ** NPO 法改正案が  
成立・公布されました。

「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」(平成28年法律第70号)が成立し、平成28年6月7日に公布されました。改正法は公布から1年以内の施行となります。

※ただし、貸借対照表の公告は公布から2年6か月以内の施行、内閣府NPO情報ポータルサイトの活用は公布の日からの施行となります。

**【改正内容】**

- ①NPO 法人設立や定款変更をより迅速に(縦覧期間を2ヶ月→1ヶ月に短縮)
- ②「資産の総額」を登記事項から削除、貸借対照表の公告義務化、内閣府サイトの充実
- ③認定・仮認定NPO法人に義務付けられている海外送金時の報告は書類の事前提出→事後報告に
- ④仮認定の名称変更(仮認定→特例認定)
- ⑤事業報告書等の備え置き期間の延長(3年間→5年間)

★詳しくは内閣府NPOホームページをご覧ください↓  
<http://www.npo-homepage.go.jp/kaisei>

**報告** 賛助会員

下記の皆様から賛助会員にご入会いただきました。厚く御礼申し上げます。  
(敬称略、順不同)

**【法人・団体会員】**

- 滋賀ダイハツ販売(株)
- 琵琶湖汽船(株)
- びわ湖りす森倶楽部
- NPO法人かじやの里

**【個人会員】**

- |       |       |
|-------|-------|
| 日下部純子 | 櫻田 満  |
| 辻川 作男 | 藤井 絢子 |
| 北村 裕明 | 吉田 嘉久 |
| 夏原 晃久 | 遠藤 恵子 |
| 後藤 敬一 | 里西 薫  |
| 寺本 勉  | 浅野 令子 |
| 伊藤 大輔 | 森口 行雄 |
| 青田 朋恵 | 澤村 雅  |
| 池口 博信 | 木村 健治 |
| 奥村 有香 | 富田 光彦 |
| 木田 晶子 | 川辺 恵子 |
| 中村 淳子 | 木戸 光彰 |
| 森 富裕子 | 佐藤 満  |
| 中井 善寿 | 辻橋 正一 |
| 村岡 孝浩 | 匿名19人 |
| 村西 耕爾 |       |
| 隠岐 純一 |       |
- 平成28年8月31日現在

**編集後記**

びわこ☆1・2・3キャンプの最中に洗濯機が故障したことを、フェイスブックに掲載したところ、その日のうちに大阪の方から提供のお申し出を頂いたことがあったそうです。クラウドファンディングを活用されたりと、インターネットを使って活動への様々な参加の仕方が広がっていると感じました。  
(おうみネットサポーター 藤村 陽子)

多賀やまびこクラブさんは、その名のとおり多賀の山々に響く、素敵な活動をされているNPOでした。様々なスポーツクラブが混ざり合っ、地域に根ざす健康づくり取材させていただきました！ぜひお読みください。  
(おうみネットサポーター 膽吹 憲吾)

●情報交流誌「おうみネット」は登録いただいている県内外の団体・個人のほか、次のところに配布しています。(50音順)

関西アーバン銀行、京都信用金庫、県内公民館、県内公立施設、県内市民活動支援センター、県内社会福祉協議会、県内市役所・役場、県内図書館、県内中学校・高校・大学、滋賀銀行、滋賀県信用組合、滋賀県庁、生活協同組合コープしが、他

おうみネット 99

●2016 秋号●



Ohmi Network Center  
**淡海ネットワークセンター**  
公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

- 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
- TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442
- <http://www.ohmi-net.com>
- E-mail:office@ohmi-net.com
- 開館時間 / 9:00 ~ 17:00
- 開館日 / 市民活動ふらっとルーム：火～土曜日(火～金曜日の祝日は休館)
- 事務所：火～日曜日

市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌  
「おうみネット」 掲載広告募集中!

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約2,000カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円

詳細は、当センターまでお問い合わせください!



おたがいさまがつながり、活きる。

未来ファンド 個人の気持ち、企業のCSR  
**おうみ** 様々な“志”を地域に支える市民活動へ、しっかりつなぎます。

寄付をお考えの方、詳しい内容を知りたい方は、淡海ネットワークセンターにお気軽にお問い合わせください。

日本政策金融公庫国民生活事業は  
みなさまの身近な国の金融機関です。

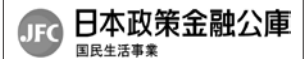
- ・NPO法人のみならずもご利用いただけます。
- ・新たに事業を始める方にもご利用いただけます。
- ・経営に役立つ情報をご用意しています。

新たに事業を始められる方へ  
**新規開業ローン**

中小企業・小規模事業のみならずへ  
**国の事業ローン**

お子様の教育資金を必要とされる方へ  
**国の教育ローン**

お問い合わせは



大津支店 国民生活事業 TEL077-524-1656  
彦根支店 国民生活事業 TEL0749-24-0201

お気軽にご相談ください。

日本公庫  検索



この印刷物は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。